（様式 １）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　FY2022

２０２２年度　名古屋大学若手育成プログラム

--------- ＹＬＣ (Young Leaders Cultivation) ------

申　　請　　書

**（１０ポイントの文字を使用し記入すること。）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 応 募 枠  （右記応募枠に該当する場合はチェックをしてください） | ☑ 一般枠　 　□ 学内枠　 　□ 外国人枠　 　□ 女性枠 | | |
| 中区分\* | | | |
| 小区分\* | | | |
| 応募者の専門分野（科研費の区分に関わらず記入してください） | | | |
| 応募者の研究キーワード (５件以内) | | | |
| 注意：\*の項目については、日本学術振興会（JSPS）が指定しているものを参考に、そのまま記載すること。これらの項目情報が記載されたJSPSの資料は次のURLからダウンロードできます。URL: <https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/data/h30/h30_beppyo2-1.pdf> | | | |
| 1. 応募者氏名（フリガナ） | | | |
| 2. 研究提案課題名 | | | |
| 3. 生年月日と年齢　（2022年4月1日時点）  （西暦）　　　　年　　月 　　日 年齢： | | 4. 国籍 | |
| 5. 現在の身分および所属（職名、所属機関・部局・専攻等） | | | |
| 6. 学位の名称とその取得時期　※根拠書類として、学位記のコピーを添付すること。 | | | |
| 学位：博士（　　　　　　　）　□ 本学　　　□ 本学以外 | | | □ 取得時期  □ 取得見込 （西暦）　　　　　年　　月　　日 |
| 7. 学歴（高校卒業時から昇順で） | | | |
|  | | | |
| 8. 職歴（最も古いものから昇順で） | | | |
|  | | | |
| 9. 1.名古屋大学における受入教員の氏名、部局・専攻等、職位、e-mail等の連絡先　2.着任後の兼務先（受入教員の現在の所属部局と異なる予定である場合は、明記すること） | | | |

|  |
| --- |
| 10. 現在までの研究成果とこれからの研究計画の概要 図表などを活用し、１頁以内で分かりやすく記述すること。この頁では、日本学術振興会の「科学研究費助成事業 審査区分表」において大区分が異なる領域の研究者にも大筋が理解できるよう、なるべく専門用語を避け、平易な表現で記述すること。様式の改変・追加は不可(以下同様)。特に、これまでの研究成果については研究の背景と意義、世界的な動向における本研究の位置づけを、また、これからの計画については、応募者の研究が当該分野で重要であると思われる事項、学界への影響度に重点を置いて説明すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| 11. これからの研究計画など　以下の項目全体を３頁以内で記入すること。図表を含めてもよいので、日本学術振興会の「科学研究費助成事業 審査区分表」において中区分が異なる領域の研究者にも理解できるよう、平易な表現で記述すること  (1) 研究の背景 これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について、必要があれば参考文献を挙げて記入してください。  (2) 研究目的・内容  　① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。  　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。  　③ 研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載してください。  (3) 研究の特色・独創的な点 次の項目について記載してください。  　① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点について説明してください。  ② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義について述べてください。  　③ 本研究目的が達成されたときに予想されるインパクト、及び将来の見通しについて述べてください。   1. 年次計画　年度毎に記入してください。採用期間中に海外等での在外研究を行う予定がある場合は、その計画（受入予定機関、期間、必要性等）と準備状況を記載すること 2. 将来構想　　採用期間中に、どのような経験を通じて研究能力を高めたいか、また、ＹＬＣ教員としての経験を将来のキャリア・パスとどのようにつなげたいか、名古屋大学におけるＹＬＣ教員の使命や名古屋大学高等研究院のミッションと関連付けながら、自由に記述してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| 11. これからの研究計画 （続き）　項目全体を３頁以内で記入すること |
|  |

|  |
| --- |
| 11. これからの研究計画 （続き）　項目全体を３頁以内で記入すること |
|  |

|  |
| --- |
| 12. 研究業績 以下の項目全体を２頁以内で記入すること　（下記の項目について応募者が中心的な役割を果たしたもののみを記載。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記入。応募者にはアンダーラインを付してください）  (1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を区分して記載。査読中・投稿中のものはその旨記載してください）  ① 著者、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記入。  ② 採録決定済のものについては、それを証明できるものを添付してください。  (2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説  (3) 国際会議における発表 口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載。著者、題名、発表した国際会議名、場所、月・年を記載。発表者に○印を付してください。  (4) 国内学会・シンポジウム等における発表　(3)と同様に記載してください。  (5) 特許等　出願中、公開中、取得を明記。ただし、出願中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で可  (6) その他　受賞歴等 |
|  |

|  |
| --- |
| 12. 研究業績 （続き） 項目全体を２頁以内で記入すること |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 13. 応募者の大学院博士課程・博士後期課程在学時の活動に関する情報 | |
| 博士論文のタイトル | 博士論文の指導教員名と審査大学・部局・専攻等 |
| 留学（国外から日本への留学も含む）・在外研究の内容と期間（いつからいつまで）などについて、あれば記入してください。また、特に海外留学が必要ではないと考えられる分野の申請者は、その理由についても述べてください。 | |
| 14. 応募者の連絡先（面接審査などのため、確実に連絡がとれる方法） | |
| Tel:  e-mail: | |

**本申請書（様式１）のすべての記載内容に、誤りがないことを誓います。**

記載（西暦）年月日:

応募者氏名:

**応募者への注意事項**

１. 本申請書（様式１）は、pdfを高等研究院係に直接提出すること。

２. 以下の書類の準備・作成を、応募者が本人の受入教員に直接依頼すること。

２通の推薦書（受入教員ならびに受入部局等の長が、それぞれ一通ずつ）

なお、これらの推薦書については、受入教員から高等研究院係に直接提出すること。